



さわやか 横浜栄館 開所

二〇二二年三月一日、神奈川県横浜市に介護付き有料老人ホーム「さわやか横浜栄館」が開所しました。さわやか倶楽部では神奈川県で「さわやかさがみはら館」に続く二か所目の施設となります。

横浜市といえば近代的な都市のイメージがありますが、横浜栄館がある横浜市区は鎌倉市に隣接していることもあり、閑静な住宅街が広がっています。建物は三階建ての全六十七室で、フロアの中央に食堂兼機能訓練室を配置しており、自然に陽の光が入る心地良い空間になっています。

開所前に行われた新人研修では、吉岡取締役が新人職員の指導を行いました。内覧会では準備の段階から近隣エリアのエアーマネジャーや施設長も協力し、七〇名以上のお客様が来館されました。

施設長
あいさつ



さわやか倶楽部の基本理念をもとに入居者様に寄り添ったケアを行い、安心・安全で笑顔溢れる施設を目指します。また、職員のスキルアップを図り、介護の質の向上を促すことで、最高のケアが行える環境づくりを進めています。(菊池守)



さわやか 横浜栄館

〒247-0012 神奈川県横浜市栄区若竹町49-24

TEL.045-330-4428

交通アクセス

JR根岸線・港南台駅よりバスで約7分
横浜横須賀道路・港南台ICより車で約9分

さわやか 愛の家 むなかた式番館 開所

二〇二二年三月一日、福岡県宗像市に多機能型事業所「さわやか愛の家むなかた式番館」が開所しました。さわやか倶楽部では二十一か所目となる障がい福祉事業所となります。定員五名の放課後等デイサービスと定員十五名の生活介護の複合事業所です。福岡県内では十二か所目の放課後等デイサービスで、宗像市では「さわやか愛の家むなかた館」に次いで二か所目、生活介護としては県内初の事業所となります。

宗像市は福岡市と北九州市の中間に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな地域です。市内にはふれあいの森総合公園があり、季節の移り変わりに合わせて変化していく自然も魅力です。

市内にはさわやか倶楽部が運営する介護施設「さわやか宗像館」や「さわやかむなかたのもり」があり、施設で開催される季節のイベントや地域行事等にも参加しながら、利用者が楽しく社会と関わる機会を提供することで「幼青老」の共生を実現する福祉施設を目指します。

センター長
あいさつ



川本センター長

以前は自身でヘルパー事業所を運営し、『心を丁寧に』との思いでどんな小さな気持ちも見逃さないよう思いを込めて支援を行っていました。その後、さわやか倶楽部に入社し、さわやか愛の家かんだ館、愛の家のおがた館にて管理者を務めてきました。これらの経験を活かし、利用児(者)の方々ご家族様が安心して過ごせる環境の中で、様々な活動に取り組みさせていただきます。(川本文(あや))

さわやか 愛の家 むなかた式番館

〒811-3416 福岡県宗像市宮田2丁目17-18

TEL.0940-35-7222

TEL.0940-39-7001

交通アクセス

JR鹿児島本線・赤間駅より車で約6分
九州自動車道・若宮ICより車で約10分



キラリ一等星

光り輝くスタッフのご紹介



Star No.164

センター長

進藤 龍太さん

さわやか愛の家さくら館
[秋田県秋田市]

学生のころから子どもに関わる仕事をしたいと志していました。一度は諦めて別の業種に職を変えたこともありましたが、学生時代からの夢を諦めることが出来ずに福祉の仕事を探していた時に会ったのがさわやか倶楽部でした。もともと放課後等デイサービスでの仕事に興味があり、経験が浅い中ではありましたが、研修の充実さなどにも惹かれて入社させていただきました。

日々の仕事の中では、常に新たな発見や学びがあります。スキルアップ研修などで自分自身がこれまで知り得なかった他施設の事例や対応などを学ぶことや、新たな視点に立った支援を職員間で確認し、学びを深めながら支援に繋がれるところにやりがいを感じています。

利用者様との関わりの中では、相手に寄り添いながら成長を身近に感じられることに喜びを感じています。例えばこれまでお絵描きの時間に、ペンを使って塗りつぶすことや線を引くことしかできなかった児童が、顔のイラストを一人で書き上げた時には、涙が出そうになるほど感動しました。

休日は家で読書やスポーツ観戦をすることが多いです。父が読書好きだったこともあり、子どものころから本が身近にある生活をしていました。ミステリーやSF小説が好きで、東野圭吾先生や星新一先生をはじめ、最近は知念実希人先生のシリーズを読むことが多いです。学生時代は陸上競技に熱中していたこともあり、録画した駅伝やマラソンなどのテレビ中継もよく見ます。野球も好きで、横浜DeNAベイスターズのファンクラブに入っています。

昨今の新型コロナウイルスの影響もあり、今後も限られた中での活動が続くことが予想されますが、このような時こそ利用者様が楽しめる集団活動や個別活動を取り入れていきたいと考えています。例えばzoomを使ったオンライン工場見学等もその一つです。現在はマヨネーズ工場や乳製品工場などのオンライン見学を予定しています。コロナ禍だからこそ新たな支援の形を模索し、職員間でアイデアを出し合いながら、より良い支援を目指したいと考えています。まだまだ勉強中の身ではありますが、一生懸命に業務に取り組みながら、自分自身も成長していきたいです。

産んでくれて
育ててくれて
ありがとう!



夏井 麻里衣さん

さわやかさくらのもり
[秋田県秋田市]

私は母のお腹から出たくなかったのか、予定日よりもずっと長く居心地の良いお腹の中に居座り、さすがにそろそろ…と陣痛促進剤を使用したようで、ついに外の世界になることになりました。3月に生まれたので、同じ学年でも4月生まれの子と比べると1年近くも違うため、体格や能力が劣ってしまうと言われて母は少し不安だったようですが、私はそう感じたことは一度もありません。なんせ母のお腹の中でゆっくりさせてもらったので、生まれた時には約5kg、当時の病院内で1番の大きさでした。また、小さい頃から頭の良い父や先に生まれた兄、人生の大先輩である祖父母から多くのことを学ぶことができました。おかげで、身長は学年で1、2位を争う高さで、勉強もそれなりに頑張ることができ、何不自由なくここまで成長することができました。今はむしろ3月生まれで嬉しいです。同級生の中で1番若く、得をした気分になれます。

高校を卒業し、私は大学進学のために地元の北海道を離れる決断をしました。両親や祖父母に最初は反対されましたが、最終的には応援してくれ、秋田で4年間を過ごしました。家族にはとても迷惑をかけたので、就職は地元へ戻りました。両親もとても喜んでくれ、これから親孝行するぞと意気込んでいましたが、結婚のためにまた秋田へ移り住むことになりました。そしてちょうどコロナ禍になり、帰省できずにもう少して2年になります。二度も寂しい思いをさせてしまい、親孝行も全然できていません。そんな娘を遠くからずっと優しく見守ってくれる両親には、本当に頭が上がりません。

私もいつか両親みたいな親になれるように生きていきたいと思います。そして、帰省できた時には精一杯親孝行したいと思います。

story
29支援の方向性を見直し
生きがいに繋ぐ

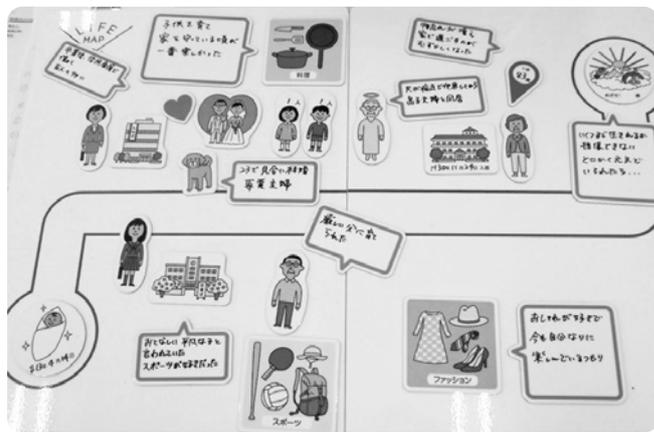
さわやか和歌山館 [和歌山県和歌山市]

今回ご紹介するのはS様、現在84歳の認知症のある女性の入居者様です。

入居されてから3年目になりますが、徐々に認知症状に変化が見られ、物の認識が曖昧になってきました。タンスの中の衣類などをベッド上に大量に並べ、手元にあるものを手あたり次第重ねて着たり、枕カバーを首からかけたり…と今までは見られなかった行動が目立つようになり、仲の良かった利用者様も少し距離を置くようになってしまいました。そこで、職員が介入することで問題は解決できると考え、しばらくは片付けや着替えを手伝うといったお世話型の支援を行っていました。そんなある時、これでいいのか?と模索していた中でライフマップの話を聞き、S様への関わりについて「何か別の糸口を見つけるきっかけになればいいな」との思いでさっそく活用してみることにしました。



言葉で聞いても「よくわからないのよ」と返されることが多かったので「どこまでお話を伺えるのかな? 混乱させてしまわないかな?」という気持ちでライフマップを広げました。すると物珍しそうに「ゲームをするのね」と【ファッション】のカードを手にとられました。そこから話を進めていくうちに、おしゃれに関することや、家族のために料理を作ったりして楽しかった頃のことなど、今まで知らなかったS様の一面を知る機会になりました。ご本人の興味や楽しかった思い出がそこにあるなら、それらを引き出しながら、今までのお世話型でなくご本人と一緒にできることに目を向けた支援に方向性を変えてみようと考えました。



まず、タンスに大量に詰め込んでいた衣類を、今の季節に着れる物だけに減らしました。そして、その中から明日着る衣類をおしゃれが好きな利用者様も交えて一緒に選んだり、選んだもの以外は一緒に場所を決めて片付けるといった作業を繰り返しました。



するとその作業がS様の生活の日課になり、片付けられたことに自信も出てきたのか、今ではS様のほうから声をかけてくれるようになってきました。それでも時々、スカーフのように枕カバーを肩からかけて出てこられますが、それも愛嬌です。一緒に服を選びたいと言ってくれる利用者様も増え、選んだ服を褒められるのも嬉しいようで、機能訓練中もこの笑顔です。

他の利用者様との交流が広がって笑顔が増えたことに伴い、混乱や帰宅願望も以前に比べ減ってきています。一度に色々進めていくのは難しいと思いますが、今後はレクリエーションの一環として、お料理を含め色々な趣味活動の場を作っていたらなと考えています。



これからもライフマップの活用で、困難と感じられる支援の糸口を見つけるきっかけ作りに繋がっていきます。

(ケアマネジャー・弓中 聡子)

さわやかダイアリー

日々更新される施設のブログから一部をご紹介します!



その他の
記事は
こちらから



お雑様とケーキといちご

さわやかいわつき館 || 埼玉県さいたま市



今日はひな祭りの本番です。満面の笑みで行きましょう。ビッグスマイルです。どうか形にした人形の街いわつきの雛飾り。記念撮影しましょう。みんな笑顔です。

こちらの左側のお二人、なんと!小学校の同級生!!!!いわつき館で偶然に再会です。こんなことってあるの~?楽しい日々になりそうですね。

そして今日は「たまにはいいよね」ってお墨付きで、ひなあられとお菓子、ケーキといちごとアイス。豪華なお茶の時間になりました。

(幸 美由樹)



ひな祭りイベント



さわやか和歌山館 || 和歌山県和歌山市

3月6日(日)に行ったひな祭りイベントの様子を撮らせて頂きました。おやつには芋羊羹とお饅頭とひなあられが出てきました。飲み物は抹茶入りのお茶やジュースなど、皆さまに好きなものを選んで頂きました。

「美味しいわーこの饅頭」「和菓子もいいね」と同じお席の方とお話しながら召し上がられていました。和菓子にはお茶がよく合いますね。

おやつ後はお内裏様とお雛様のパネルでお写真を撮らせて頂きました。素敵な笑顔を頂き「私にも貸して」とパネルを回して盛り上がりました。皆さま素敵なお雛様とお内裏様でした。(大島 果子)



お雛様



さわやか宗像館 || 福岡県宗像市

こんにちは。さわやか宗像館です。先日、天気良かったのでお雛様を飾りました。お雛様を飾れて、すごく嬉しいと言っただき、「ちゃんと、毎年フロアに飾らないとな~」って思いました。みんなで記念撮影をした後は、「昔、孫に買ってあげて一緒に飾っていたのよ~」って嬉しそうに皆さんでお話しされていました。

3月は、ひな祭り・ホワイトデー・お誕生会・うなぎランチレクリエーション等、たくさん計画しているので、入居者様に楽しい時間をたくさん過ごしていただいています。(立野 さやか)



ひな祭りお膳料理



グループホームかがやき || 福岡県北九州市

ひな祭りのお膳料理をお出ししました。ひな人形は、稲荷揚げを使いました。常食、ミキサー食ともにおつくりしました。皆様、喜んで下さいました。

「わーきれい、食べていいの?」「かわいい」と、大変喜んでくださいました。(碓井 幸子)



キンパ作り



さわやか愛の家たちあらい館 || 福岡県三井郡

本日はおやつレクでキンパを作った時の様子をお届けします。みなさん、キンパってご存じですか? キンパは韓国料理の一つで、「キンパプ・キムパプ」というそうです。キン(キム)=海苔、パプ=ごはんだそうです。日本でいう海苔巻きのことです。そんなキンパを本日もおやつレクで作ってみました。

材料はごはん、海苔、キムチ、シーチキン、チーズ、マヨネーズ。まずは海苔にチーズ以外を混ぜたごはんを乗せます。ごはんを広げたら、その上にチーズをたっぷり。あとはチーズがとけるようにレンジでチン。「なにこのにおい!」キムチのにおいが苦手なお友達も。「おいしい、でもちょっと辛いね」「僕辛い平気、おいし〜」「みてみてチーズが!」シャッターを切るのが間に合わず伸びているところを撮り逃しました。子ども達も反応は様々でしたが、ちょっぴり辛かったみたいです。次回は辛くないキンパでリベンジしてみます。(中村 弥生)



表彰式



さわやか桜館 || 秋田県仙北市

郵政150周年ということで郵便局の方から「展示コーナーに飾る作品を作ってほしい!」という依頼がありました。その展示品が町の方々に大変好評だったので、郵便局の方よりお手紙が届きました。そちらをみなさんに紹介しました。

桜館のお客様の作品が外部の方に喜ばれるなんてとても素晴らしいことだと思います。桜館としても大変嬉しいことです。なので、みなさんには少しばかりの気持ちを贈らせていただきました。日頃の取り組みが作品になり多くの方の目にとまれば、それが励みにもなると思います。これからも活動を応援したいです。(蛭川 麻衣)



お誕生日会



さわやか愛の家のおがた館 || 福岡県直方市

2月のお誕生日を開催しました。午前中は迷路に挑戦。簡単なものから複雑なものまで好きなプリントを選んでそれぞれゴールを目指しました。

昼食にはカレーライスに好きなおかずをトッピング。カレーを食べたあとは体を動かしましょう! ということで障害物リレーを開催します。段ボールをもってジャンプしながら移動したり、「よっ! よっ!! 私、上手かな?」男子「こんなとこ入れんよ!!」職員「できるできる!!! ここから入ってみて!!」「いけたー!!!」最後にはお面に顔を近づけて、ハイチーズ。ありや、みんな恥ずかしがって顔なしでしたが、みんなでワイワイ楽しむ姿がみられました。(中野 法子)



(株)ウチャマホールディングス、(株)さわやか倶楽部、(株)ボナーの3社共同プロジェクト『CLUB SDGs』より、毎月SDGsに関する情報を発信します。

今回は、(株)ウチャマホールディングス本社で行っているSDGsを紹介します。

継続的な社会貢献活動



チャイルドスポンサーシップ

本社の社員や施設・店舗から寄付を集め、世界の貧困に苦しむ子どもたちの生活支援を実施しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(エスディーゼズ)とは

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

(株)ウチャマホールディングス本社では、毎日の環境保全の行動から、お客様への支援、外国への支援など多方面のSDGs活動を行っています。

元子ども兵の社会復帰支援

NPO法人テラ・ルネッサンスによるアフリカ・ウガンダの元子ども兵社会復帰プロジェクトへ寄付による支援を実施。寄付金は、職業訓練施設での給食提供に活用されます。



子ども食堂

北九州市内2か所の市民センターで実施。「子ども食堂ネットワーク北九州」にも加盟し、産学官が一体となって取り組んでいます。



毎日のSDGs活動

5分間清掃

朝礼後、自分の身の回りの清掃を実施。1日の仕事をスタートする前に、仕事環境を整えます。



DXの推進

紙(資源)の無駄を無くし、業務を効率化するため、クラウドを活用した業務システムを導入。自然環境へ配慮しつつ、働きやすい職場づくりにもつながります。



裏紙と封筒の再利用

片面印刷で不要になった紙は、裏紙として社内資料の印刷やFAX用紙に使用します。各種封筒も社内でも再利用しています。



各種会議・研修

月例会議・現任者研修・新人研修などの社内研修に加え、社外から講師を招いたセミナーなど、様々なステップアップの場を作っています。



社内植物の設置

植物による湿度調整や社内の空気浄化、ストレス緩和効果によって、社員の働く環境をより良くしています。



ウチャマふるさと制度 (Uターン)

様々な理由で一度退職した職員の再雇用を行います。仕事内容を理解した職員が再入社することで効率的で質の高いサービスの創出を目指しています。





感謝とともに新たな歴史を築いていこう

◆ 新年度の目標

ウチヤマグループでは三月末に決算を迎え、四月から新年度がスタートします。コロナ禍に入ってから二年が経過しましたが、感染のリスクはいまだに収束することなく、警戒が必要な状況が続いています。とはいえ、第六波のピークは過ぎ、三回目のワクチン接種も進められている中で、三月二十一日にはすべての都道府県において「まん延防止等重点措置」が解除されます。この二年間で経験したことや学んだことを活かしながら、ウィズ・コロナの時代に合ったやり方で、四月からの新年度も目標必達を目指して気持ち新たに仕事に取り組みしましょう。

さわやか倶楽部では、三月一日に新規施設を二か所で開設しました。コロナ禍においても、新規施設の開設はこの一年間も滞ることなく、順調に施設を増やすことができました。コロナに起因する世界的な物流網の混乱により、工事の資材や物品の調達に苦労しながら、責任を持って対応していただいた取引業者の皆様に、心より感謝しています。

施設の職員においても、コロナ禍でご家族様との面会制限が続く中、マグロの解体ショーやひな祭りのイベントなど、さまざまな企画で入居者様・利用者様の生活に楽しさを提供してくれています。

福岡県宗像市にある「さわやか宗像館」では、冬季オリンピックの開催時期に合わせて、施設内で入居者様参加型のオリンピックの開催を行いました。アイスホッケーやカーリングなど、工夫を凝らした競技の数々が盛り上がり上がった様子が施設のブログでも確認することができます。昨年の夏にも東京オリンピックに合わせて施設内でオリンピックを開催していましたが、コロナ禍で自由な外出が難しい中、入居者様に楽しんでいただきたいという想いが伝わってくる素晴らしいアイデアと実行力に感動しました。

さわやか宗像館のブログより



◆ 五〇年の歴史を振り返って

昨年ウチヤマグループが創立五〇周年を迎えたことを機に、記念誌の制作が進められています。企画委員会のメンバーが中心となって、創業からの古い資料を集めたり、当時を知る人たちから話を聞いたりしながら編集作業を行い、当社の歴史と想いが詰まった一冊がまもなく完成します。私も原稿段階で確認していますが、この五〇年間で起きた出来事を振り返るたび、当時のような思いで仕事をしてきたか、その時の感情と共に情景が浮かび上がってきます。

創業してからこれまで、すべてが順調だったわけではありません。内山ビルを創業してから景気の波に乗って事業を拡大した後、不動産バブルの崩壊によって倒産の危機も経験しました。会社としても個人としても社会的な信用を失っていく中で、それでも私を信じて残ってくれた仲間、仕事がなくたって付き合いを続けてくださった取引先の方々など、苦しかった時に支えてくれた人のことは、一生忘れることはありません。その方々になんとか恩返ししたい、会社を大きくして社会にも認められる存在になりたいという思いで、株式上場を目指してきました。十年前の二〇一二年四月二〇日にJASDAQに上場を果たし、その後東証一部、東証一部とステップアップできたことは、自分にとっても会社にとっても大きな自信となりました。今はコロナという新たな敵と戦っていますが、過去に数々の困難を乗り越えた経験があるので、絶対に負けないという強い意志を持って立ち向かうことができます。

今ウチヤマグループで働いている皆さんも、五〇年続けてきた会社の歴史の中で活動しながら、新たな歴史の一ページを作ろうとしています。中にはうまくいかない仕事もあると思いますが、これまでの歴史を作ってきた先輩や上司に相談しながら、必ずできるという信念を持って取り組みましょう。これから配布されるウチヤマグループ五〇年史にも、過去の成功への道のりや苦勞の足跡が、貴重な記録として残されています。読んでみれば、きっと皆さんの仕事のお役に立てることと信じています。



オススメ

- 1 夢十夜・草枕 (夏目 漱石)
- 2 新 自分を磨く方法 (スティービー・クレオ・ダーピック)
- 3 これだけは読んでおきたいすてきな絵本100 (木村 美幸)
- 4 うまいこと老いる生き方 (中村 恒子/奥田 弘美)
- 5 たまごからうまれた女の子 (谷 真介 文/赤坂 三好 絵)

介護業界の社会課題解決に向け SOMPOグループと協業開始

3月9日、ウチヤマホールディングスは「リアルデータ起点による介護業界の社会課題解決に向けた協業開始」について、SOMPOホールディングスおよび子会社であるSOMPOケア株式会社と同時にニュースリリースを行いました。

現在、日本国内においては急激な少子高齢化が進み、「高齢者人口の増加や生産年齢人口の減少」、「長寿化に伴う平均寿命と健康寿命の差の拡大」、「介護業界における労働力の確保や労働環境の改善」、「社会保障費の増大や経済成長の停滞」など、多くの社会課題に直面しています。

さわやか倶楽部では、そのような課題の解決に向けて「慈愛の心、尊厳を守る、お客様第一主義」を理念に掲げ、介護サービスを展開しています。少子高齢化が進む時代に安心して利用できるサービスの提供、多くの高齢者の方々が充実した生活を送れる環境の実現に注力しながら、介護現場オペレーションに密着した各種データ収集・活用による「日本の接遇とオペレーション」を目指しています。

SOMPOケアにおいては「介護の未来を変えていく」ことを軸として、健康で笑顔あふれる未来社会の実現に貢献できるよう取り組みを進めており、業務プロセスを最適化し、介護現場の課題解決をサポートする

ソリューション開発に注力されています。

こうした志を同じくする両社がお互いのノウハウを活かし、データ起点による介護業界の課題解決にチャレンジすべく、協業を開始しました。

主な内容としては、SOMPOケアが介護施設向けに開発し、自社で運営する介護施設で実証を進めているソフトウェアをベースに、さわやか倶楽部が九州工業大学と共同で開発し介護施設に導入しているスマートフォン用の記録アプリ「Fonlog」によって収集された様々な介護オペレーション(睡眠、食事、排泄、口腔ケアなど)に関するデータを実態に則した形で収集・統合・解析することで、汎用的なソフトの開発へつなげていく予定です。

これまで暗黙知となっていた職員のノウハウ・知見を仕組み化し、経験の浅い職員でも優秀な職員と同等の判断ができるようになれば、介護サービスの質の向上、業務の効率化が期待できます。たとえば、入居者様ごとのケアプランと実態のギャップ把握によるオペレーションの改善や体調変化の傾向把握などにより、これまで属人化していた業務オペレーションの体系化や判断の精緻化、迅速な意思決定が可能になり、高品質な介護サービスを維持しつつ業務効率化を実現することも可能になります。入居者様の生活に密着した各種データ統合による業務の見える化によって業務オペレーションの仕組み化をサポートし、将来的には、収集データに基づく予測モデル構築を視野に入れています。

これらの取り組みを通じて、入居者様・利用者様のQOL向上はもちろん、介護現場における様々な課題を解決し、多くの人々がより豊かな生活を過ごせる社会の実現を目指します。

キントーン ハイブ kintone hive 福岡会場に登壇!

さわやか倶楽部では、サイボウズ株式会社が提供するクラウドサービス「kintone(キントーン)」を2018年から導入し、本社と各施設間でデータを共有する様々な業務に活用しています。そのkintoneの活用事例を公開するイベント「kintone hive(ハイブ)」が全国で毎年行われており、今年はさわやか倶楽部を代表して運営指導部の原野副部長が福岡会場に登壇することが決定しました! 6社によって行われるプレゼンの中で最も評価が高かった企業は、全国のグランプリを決める大会に出場することになります。皆さんの応援をよろしくお願いいたします!



日時 2022年4月14日(木) 14:00~17:40
会場 Zepp福岡(オンライン参加も可能)
参加費 無料(事前登録制)



kintoneとは? 【キントーン】

累計20,000社以上・毎月500社以上が導入するサイボウズ社のクラウドサービス。ITの詳しい知識がなくても自社の業務に合わせたアプリを感覚的に素早く作成できるのが特徴です。

kintone hiveとは? 【キントーン ハイブ】

kintoneの活用アイデアをユーザー同士で共有するライブイベント。日頃の業務でkintoneを使いこなしているユーザーが一堂に会し、業務改善につながるkintoneの活用ノウハウをそれぞれの視点で披露・共有します。

おめでとう!

Hello Baby!!!



くるみ
辻本 来未ちゃん 2021年12月29日生まれ | 女の子

大切な家族が増えたことで、守らなければという気持ちが強くなりました。仕事に対する姿勢も変わり、今後も頑張っていきたいと思います。

パパ さわやか和歌山館 副主任・辻本 裕生(ゆうき)



あなたのお悩み話してみませんか?

さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。
お電話、メールお待ちしております!

電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@docomo.ne.jp